

## 主催者あいさつ 2013.9.13 100才を迎えた絵鳩さんを囲む公演とお祝いの集い

本日は絵鳩さんの100才のお祝いの会に参加していただいていたいへんありがとうございます。この日を迎えられたことを私たち撫順の奇蹟を受け継ぐ会神奈川支部会員一同、本当に心の底から喜んでおります。今日は楽しく、意義のある集会にしたいと考えています。皆様のご協力をお願いします。

本日の会は第1部、第2部に分けて開催します。1部では絵鳩さんの100年間の思いのたけを語っていただき、講演会とします。後半で質問時間も設けてありますので、皆さんからの声を届けていただきながら、記憶と記録に残る意義ある集会にしたいと考えています。

第2部はこの会館内のレストランに場所を変えて、食事をとりながら団らん形式で、楽しくお祝い会を行ないたいと考えています。この場では参加者皆さんから絵鳩さんにお祝いの言葉を伝えていただければ、と考えています。

第1部で絵鳩さんが話される内容につきましては、すでにレジメが配られています。レジメに添ったお話をさせていただきますので参考にしてください。

じつは、もうすでに1か月も前に今日の内容はすっかり書きあがっていたのです。先日打ち合わせを兼ねてお伺いしたときに原稿を渡されました。

そして、「60分と言われたけれど、かなりオーバーしそうだ」と仰っていました。たしかに、この原稿のボリュームからすればそうだと思います。

もちろん、時間は充分用意してありますので、お話していただけるだけお話しください、とお願いしました。

本集会の案内文に、以下のように書きました。

まず、今日の講演の表題について、私の方から「**100才を迎えた絵鳩毅さん、大いに語る!**」という表題をお願いしました。ですが、絵鳩さんが遠慮されてレジメに書かれている「百寿の人生放談」ということで絵鳩さんから示されました。

100年間の絵鳩さんの体験について、そのキーワードは「撫順戦犯管理所体験」にあります。もちろんそれだけではありません。

①目の前で自分が通っていた小学校が崩れ落ちた**関東大震災**での恐怖の体験、②水戸高校での**梅本克己**や**後藤田正晴**などとの交遊について、③東大在学中に**2.26事件に遭遇**したこと、④東大卒業後入省した文部省(教学局思想科配属)での**河合栄治郎教授検閲作業**をさせられたこと、⑤ゾルゲ事件で死刑にされた**尾崎秀実との出会ったこと**、⑥その後山梨県女子師範学校、長野県上田高等女学校教師を経て1941年7月に入隊されました。

⑦入隊後の**4年間の苛烈な戦争体験**、⑧敗戦後の**5年間のシベリア抑留体験**、⑨**そして6年間の戦犯管理所体験**については受け継ぐ会神奈川支部発行の冊子=3部作に収録されています。

私の方からお願いして以降、今日の講演会に向けて、絵鳩さんは毎日構想を練り、パソコンに向かって準備されてこられました。ご高齢の身体にご無理をお願いすることに躊躇が無いわけではありません。それでも「僕の話聞いてくれる人には応えたい」「それは僕の生きがだから」とおっしゃってくださっています。今日も貴重なお話しを聞かせていただけると幸いです。

先ほど絵鳩さんの100年間の体験について①～⑨まで、私が承知している項目を断片的にお話しましたが、帰国後の体験をひとくくりにして、それを⑩とすれば、10項目になります。

しかし実際には10項目どころではありません。

絵鳩さんは、「大正から昭和へ」と題する自伝を第8巻まで書き上げて発刊されています。その第1巻の最初の項目が「おさなものがたり」と題して、3才のころの記憶を呼び戻しながら書かれています。

自伝以外にも、書かれたものはたくさんあります。俳句も短歌もあります。絵鳩さんが東大を卒業される時の卒業論文も見せてもらいました。

その卒論は「カントに於ける「人格性」(Persoenlichkeit)についての考察」です。関心のある方には絵鳩さんの許可をいただければお見せします。

絵鳩さんから聞いておかなくてはならないこと、聞いておくべきことはまだまだ山ほどあります。今日、それらをすべてお話していただくことはあまりにも無理があります。不可能です。

そこで今日、もう一つ資料をお配りしましたが、これは昨年11月17日に行った「絵鳩さんを囲む小規模学習会」での絵鳩さんのお話テープ起こしです。まだすべてが完成していませんが、近いうちに「神奈川支部情報」として発行したいと考えています。

あとで読んでいただければいいと思いますが、予め絵鳩さんに質問項目を伝えて、一定の期間を経て、そのことについてお話をしていただく、ということで行いました。

これからは、今までの「神奈川証言集会」のように大規模な集会で、しかも遠くへ来ていただいて絵鳩さんのお話を聞くというパターンは絵鳩さんの健康への負担を考えればそうすべきでないと考えています。

先日お伺いしたときも私に話してくださいました。今日の講演でもお話がされると思います。絵鳩さんにとって、「社会運動に参画していることが長生きの秘訣だ」と仰っておられます。そのお言葉に甘えさせていただいて、今日の集まり程度の小規模で、絵鳩さんの健康と相談しながらこれからも、ポチポチとお話を聞かせていただきたいなあと考えています。

いま、まさに参議院選挙戦の真っ最中です。すでに終盤です。村山談話の継承を否定し、侵略の定義が国際的に定まっていない、慰安婦問題は強制性を裏付けるものではなかった、という歴史認識を披歴して、96条を改悪して憲法改悪の道筋をつけることをあから様に企図している、安倍自民党政権をこれ以上のさばらせるわけにはいきません。絵鳩さんのレジメにはありませんが、質問していただければこのこともお話して下さると思います。

「日中友好、反戦平和」を背骨にした中帰連の精神を受け継いできた私たちにとっても憲法改悪は何としても阻止しなければならない課題だと考えます。

絵鳩さんの体験に貫かれている精神を私たちも受け止めたいと考えます。

今日は、楽しく有意義な集会として成功させたいと思います。

よろしくお祈りします。